



沢地小だより

第7号 令和2年10月1日



令和2年度も折り返し地点です

今年は8月にも授業があり、短い夏休みが明けてからも厳しい暑さの中、熱中症を心配する毎日でしたが、いつの間にか秋の気配を感じられるようになりました。

6月から学校が始まり、実質的には4ヶ月程度、様々な制約がある中ではありましたが、子供たちはたくましく成長しています。特に、1年生の授業に向かう姿には大きな成長を感じています。御家庭においても、お子様と一緒に1学期を振り返り、今後の目標を確認すると共に、努力するお子様を応援よろしくお願ひいたします。

学校生活に広がりが出てきました



眼科検診の様子

9月になり、今までできなかった学習活動や様々な取組みが少しずつできるようになってきました。例年、年度当初に行っている各種健診もようやく始まりました。また、外部の関係機関と連携した体験学習も行っています。

2年生は、市立図書館の方による読み聞かせと本の紹介をしていただきました。

3年生の社会科では、J A・農家の方が来校し、農家の仕事についての講話をいただきました。

しました。

4年生は、三島市危機管理課による起震車体験を実施し、震度7の揺れを実感しました。また、三島市交通安全指導員の方と連携し自転車教室も実施しています。

5年生は社会福祉協議会の力をいただきながら、車いす使用者や視覚障がいの方に学校まで出向いていただき、福祉について考えながら、「三島をあたたかいまちにしよう」というテーマを追究しています。

このような体験型の学習は、小学生にとっては、本当に貴重な機会です。実際に体験して感じた様々な感覚は、子どもたちに良い影響をもたらしてくれるものと確信しています。今後も様々な関係機関等の力をいただきながら、できる限り実施していきたいと思ひます。

また、これまで実施できなかった学年集会や、クラブ活動、代表委員会等、様々な活動が動き出しました。これから子どもたちは、10月29日に実施予定の「沢地カーニバル」に向けて全力で取り組んで行きます。これからも御支援・御理解よろしくお願ひいたします。



4年生 起震車体験



今年度初のクラブ活動